



労働者協同組合ワーカーズコープ・センター事業団のご紹介

ワーカーズコープは、働く人々や市民がみんなで出資し、経営に参加し、民主的に事業を運営する協同組合です。意見を出し合い、話し合いながら、新しい仕事づくりや地域活動に挑戦し、協同労働を通じて「ともに生き、ともに働く」社会を築き、誰もが安心して暮らせるまちづくりを目指しています。

組織概要:

センター事業団は 1982 年に日本労働者協同組合連合会(当時は「中高年雇用・福祉事業団全国協議会」)の直轄事業として出発。1987 年に、現在のセンター事業団に組織再編し、日本における労働者協同組合づくりの運動に挑戦してきました。

委託事業から始まった事業は、高齢者介護、公共施設の管理・運営、子育て支援、就労支援などに拡大。現在、全国に 20 の事業本部・開発本部を持ち、約 400 の事業所で約 10,000 人が就労しており、事業高は約 224 億円に達しています。

出資について:

協同組合では、組合員が出し合った出資金が事業の元手となります。センター事業団では、1 口 5 万円の出資で組合員になることができます。

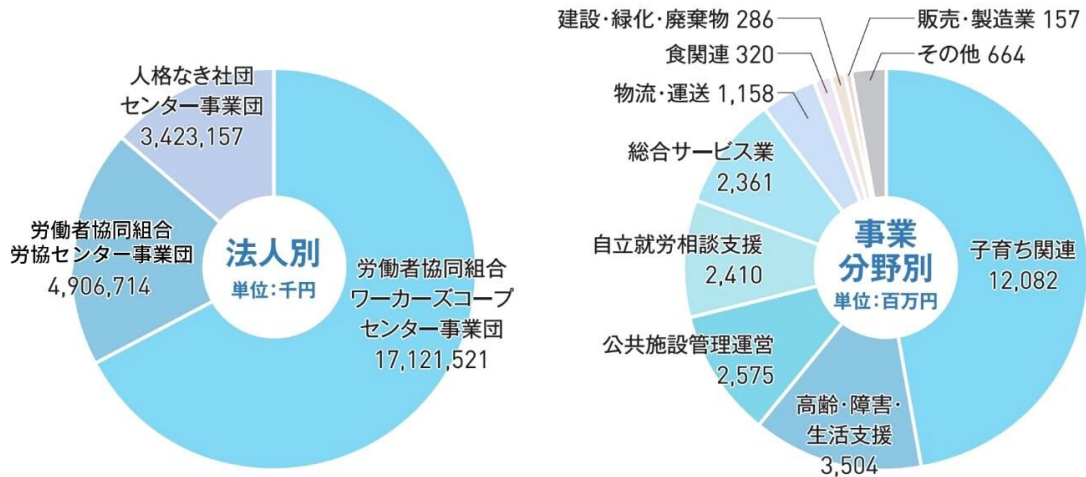
法人格について:

長らく日本には「労働者協同組合」を定めた法律がなかったため、ワーカーズコープは任意団体(人格なき社団)として活動していました。

しかし、公的制度を利用した仕事を起こす際に法人格が必要となり、「企業組合労協センター事業団」と「特定非営利活動法人ワーカーズコープ」の法人格を取得して活動していました。

2020 年に「労働者協同組合法」が成立し、2023 年に「特定非営利活動法人ワーカーズコープ」が「労働者協同組合 ワーカーズコープ・センター事業団」へ法人移行。2024 年には「企業組合労協センター事業団」も「労働者協同組合 労協センター事業団」へ法人移行しました。

◇事業高（2022年度実績）



◇業務形態

名称・法人格	日本労働者協同組合連合会センター事業団		
	労働者協同組合 ワーカーズコープ センター事業団	労働者協同組合 労協センター事業団	人格なき社団 センター事業団
設立年月日	2001年9月13日	1973年2月23日	1987年12月13日
主な業務内容	子育て事業・自立就労相談支援・ 公共施設管理運営等	高齢・障害・ 生活支援関連等	建物総合管理・ 緑化・物流等
出資金	2億3,640万円	9,260万円	27億4,032万円
2022年度事業実績	171億2,152万円	49億0,671万円	34億2,315万円
代表者	平本 哲男		
組合員数	5,008人	1,606人	1,308人